

<Web 調査>

「都知事選 2020 について聞いてみました」

回答数: 892 人

7月4日、東京都知事選2020の投票が行われました。新型コロナウイルス感染症対策、東京オリンピック・パラリンピック2020と、政策上の重要課題を抱える首都東京。その知事選において、東京都民がどのような投票行動をとったのか？ ウェブアンケートを実施し、東京都民の有権者892人から回答を得ました。

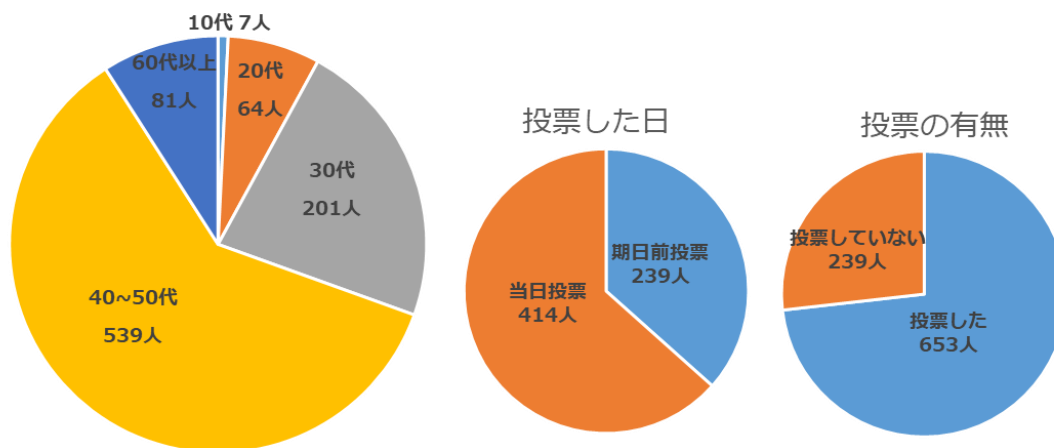
調査結果サマリ

- 投票で最も重視された要素は、どの世代においても候補者の「実績」。「人物」、「政策」への評価がこれに続き、「他に選択肢がない」という回答も高い結果となった。
- 候補者の情報収集では、「新聞・雑誌・TV等のメディア情報」、「選挙公報・政見放送」、「選挙ポスター・チラシ・公選はがき」が上位3位までを占めた。ウェブメディアやSNS情報を参考にする方は思いのほか少なく、従来の「選挙三種の神器（公選はがき、選挙ポスター、選挙公報）」が依然として強い印象。また、新型コロナの影響で街頭演説そのものが少なかったせいか、街頭演説を参考にした例は非常に少ない結果となった。
- 投票していない239人にその理由を聞いたところ、最も多かったのは「投票に関心がないから」。「新型コロナウイルス感染を避けるため」、「私的な事情」がこれに続いた。

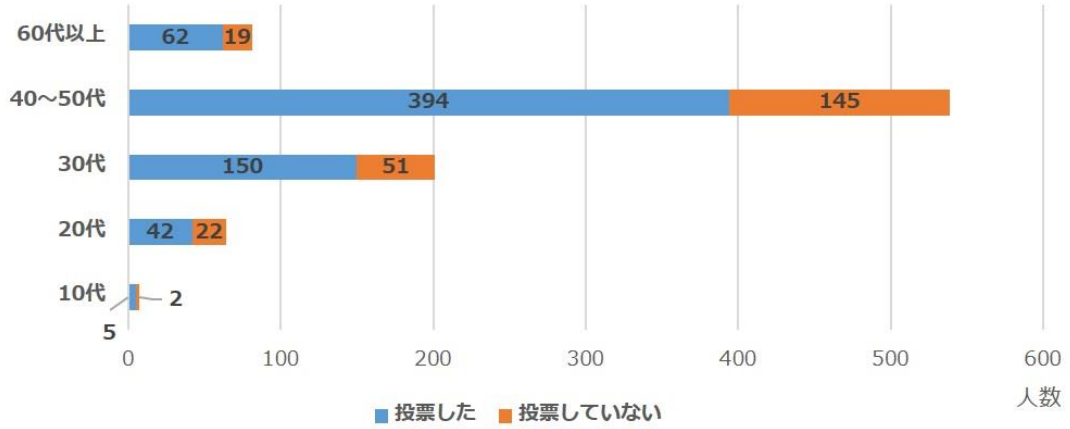
調査結果まとめ

調査結果は以下のとおりである。

アンケート回答者数（世代別）



世代別 投票者数

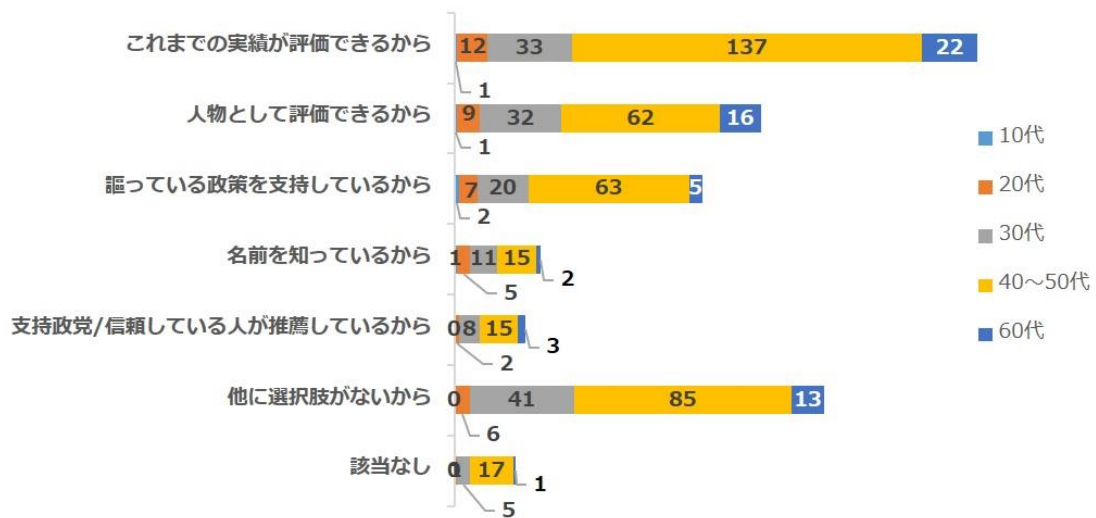


世代別 投票率

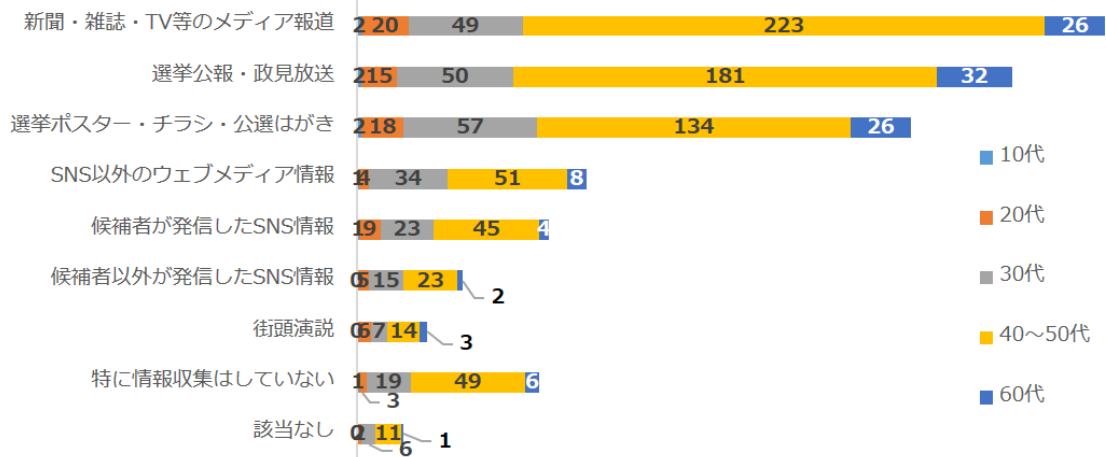
年齢層	10代	20代	30代	40~50代	60代
投票率 (%)	71.4	65.6	74.6	73.1	76.5

注) 本アンケートの性質上、世代別回答者数をそろえることが難しく、特に10代の有権者は18歳以上であることから回答者数は一桁と少ないため、投票率はあくまで参考情報としてご覧ください。

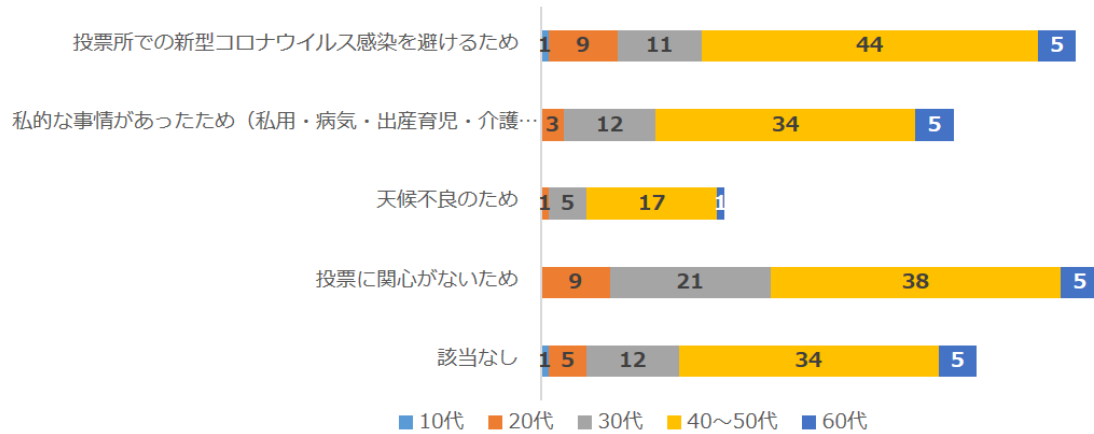
投票する際に最も重視したこと



候補者に関する情報収集方法



投票しなかった理由



調査方法： インターネット上でのアンケート

※Yahoo!クラウドソーシング(<https://crowdsourcing.yahoo.co.jp/>)を活用

調査期間：2020年7月9日(木)～14日(火)5日間

調査数： 892人 (注)本調査は、Yahoo!クラウドソーシングサービスを活用し、属性等を指定することなく広く一般的に回答を集めたものです。

本資料・データの使用・掲載について

本資料・データを使用・掲載される際には、必ず下記の出典を明記してください。

<Web 調査>「都知事選 2020 について聞いてみました」(紀尾井町戦略研究所 調査)

以上

お問い合わせ先 紀尾井町戦略研究所 研究室

メールアドレス contact@ksi-corp.jp URL <https://www.ksi-corp.jp/>